

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



2024年2月9日

上場会社名 株式会社うかい 上場取引所 東
コード番号 7621 URL <https://www.ukai.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 紺野 俊也
問合せ先責任者（役職名） 取締役 常務執行役員（氏名） 松崎 城康 (TEL) 042(666)3333
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,115	6.9	833	46.6	814	25.3	706	17.7
2023年3月期第3四半期	9,461	28.7	568	—	650	—	599	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期第3四半期	126.00		125.98					
2023年3月期第3四半期	107.01		106.99					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,634	4,529	42.6
2023年3月期	11,256	3,900	34.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,528百万円 2023年3月期 3,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,257	4.8	606	△20.6	555	△34.9	529	△42.4	94.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期3Q	5,606,540株	2023年3月期	5,606,540株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	1,443株	2023年3月期	1,320株
------------	--------	----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期3Q	5,605,156株	2023年3月期3Q	5,605,240株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期貸借対照表関係)	7
(四半期損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限が解消され、社会・経済活動の正常化が進行するなかで緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れによる国内景気下押しリスクをはじめ、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響などに注意する必要がでてきており、先行きは不透明な状況が続いております。

当社が属する外食産業においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「5類」に移行したことなどが外食やインバウンドの需要回復を後押しし、人流の回復が一段と進みましたが、慢性的な人手不足に加え、資源の高騰や物価上昇、さらには人件費の高騰等の懸念事項も生じており、事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社は「食」に関わる企業として日本の食文化の発展に貢献できる企業を目指し、コロナ禍で落ち込んだ業績の回復を着実に進めるとともに、今後の成長力向上に向け、2025年3月期を最終年度とする中期経営方針において掲げている事業基盤の構築のために「人材力の強化」「収益基盤の強化」「財務基盤の強化」の3つの重点経営課題に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、10,115百万円(前年同期比6.9%増)と増収になりました。利益面については、増収効果もあって営業利益は833百万円(前年同期比46.6%増)と大幅増益となり、経常利益及び四半期純利益についても、前年同期に計上していた営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金という一過性の収益減少による影響はあったものの、経常利益は814百万円(前年同期比25.3%増)、四半期純利益は706百万円(前年同期比17.7%増)と増益での着地となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

〔レストラン事業部〕

新型コロナウイルス感染症の法的位置づけが「5類」に移行することで外食やインバウンドの需要回復を後押しし、人流の回復が加速するなか、レストラン事業部では、それぞれのブランド・店舗の特色を活かした販促活動を実施し、来店機会創出に努めてまいりました。

また、アフターコロナとなり、取り組みを加速させた最上のおもてなしの追求についても、お客様一組一組、一人一人に対してスタッフと時間を集中させることでこれまで以上の上質な料理ときめ細やかなサービスをご提供する、そのような唯一無二のレストランであり続けるという方針のもと、2023年4月より一部店舗で定休日の拡充を図り、週休2日の店舗を大幅に拡大させたほか、コース構成、並びに価格の見直しを実施いたしました。これらの営業活動により、お客様一人あたりの単価は上昇し、来客数も前年同期に対して順調に推移しております。

以上の結果、レストラン事業部の売上高は、8,087百万円(前年同期比7.9%増)と増収になりました。

〔物販事業部〕

物販事業部の主力部門である製菓では、『アトリエうかい高島屋京都店』『アトリエうかい高島屋大阪店』において、前期までのオープン景気から一転し、売り上げの伸びに一服感がみられるものの、商品力を高めてお客様満足度の向上を図るとともに、認知度の更なる向上を見据え、全国の百貨店の催事出店や卸販売、EC販売の販売強化等を積極的に行うことで安定した収益確保を図っております。

一方、新たな業態として成長促進を図る食品部門においては、おいしさと鮮度を長期間保つ瞬間冷凍技術を活用して、当社レストランの料理長を歴任したシェフたちがレストランの味をご自宅で簡単に再現できる商品を開発し、2023年6月にグランドオープンしたお取り寄せグルメのオンラインショップ「UKAI GOURMET DELI(うかいグルメデリ)」にて冷凍シリーズとして商品ラインナップを充実させ販売開始しております。今後も、魅力的な新商品を順次展開しながら、「うかいのグルメ」として製菓、とうふ、冷凍商品を組み合わせる等、プロモーション活動を強化することでブランド確立を図り成長させてまいります。

以上の結果、物販事業部の売上高は、1,189百万円(前年同期比2.9%減)と微減収での着地となりました。

〔文化事業部〕

文化事業部では、『箱根ガラスの森』にて2023年4月22日から7月9日まで所蔵作品展「千の花咲くヴェネチアン・グラス ～きらめく初夏の庭園～」を、7月15日から2024年1月8日まで、今期の企画展「ヴェネチア、プラハ、パリ 三都物語～歴史を駆け抜けた華麗なるガラスの世界～」を開催し、この企画展を柱に様々な企画や季節の移り変わりに合わせクリスタルガラスの展示替えを行い、多くのお客様にご来館いただけるように細やかなプロモーションや旅行会社をはじめとする企業への営業の強化を行いました。

これらの営業施策の効果に加え、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことや旅行需要の高まりの後押しもあり、個人客とともに団体、インバウンド客の回復が進み、来館者数は前年同期比で大きく伸ばいたしました。

以上の結果、文化事業部の売上高は、837百万円（前年同期比12.7%増）と増収になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりであります。

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ621百万円減少し、10,634百万円（前事業年度比5.5%減）となりました。主な要因は、現金及び預金が556百万円、有形固定資産が155百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1,251百万円減少し、6,105百万円（前事業年度比17.0%減）となりました。主な要因は、取引金融機関からの借入金の総額が1,216百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ629百万円増加し、4,529百万円（前事業年度比16.1%増）となりました。主な要因は、配当金の支払いによる減少があったものの、四半期純利益の計上による増加により利益剰余金が622百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績につきましては、2023年5月18日に公表いたしました「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の業績予想から変更はございません。

当社では、例年、季節要因の影響により第4四半期会計期間の業績が他の四半期会計期間に比べ大きく減少して推移する傾向にあります。

現時点において、2024年3月期の通期の業績予想に対し、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益ともに上振れておりますが、前述の観点から今期も同様の傾向で推移することが見込まれるため、業績予想を据えおく判断をいたしました。

今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,289,294	1,732,634
売掛金	725,257	733,452
商品及び製品	170,148	188,725
仕掛品	22,015	32,280
原材料及び貯蔵品	292,921	381,567
その他	158,577	196,311
貸倒引当金	△73	△74
流動資産合計	3,658,143	3,264,897
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,720,606	9,734,270
減価償却累計額	△7,569,089	△7,753,801
建物(純額)	2,151,517	1,980,468
土地	2,187,591	2,187,591
建設仮勘定	—	12,000
美術骨董品	1,097,245	1,096,635
その他	4,088,368	4,126,284
減価償却累計額	△3,731,070	△3,765,302
その他(純額)	357,298	360,982
有形固定資産合計	5,793,652	5,637,678
無形固定資産	64,997	65,862
投資その他の資産		
投資有価証券	83,467	101,365
繰延税金資産	570,973	472,065
敷金及び保証金	1,075,750	1,076,855
その他	9,466	15,822
投資その他の資産合計	1,739,657	1,666,107
固定資産合計	7,598,308	7,369,649
資産合計	11,256,451	10,634,546

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	320,596	405,548
短期借入金	※1、2 3,495,000	※1、2 1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	180,220	240,370
未払法人税等	16,929	12,883
賞与引当金	112,228	29,916
その他	1,343,095	1,270,904
流動負債合計	5,468,069	2,959,622
固定負債		
長期借入金	576,595	1,795,030
退職給付引当金	1,086,385	1,130,537
資産除去債務	215,555	217,725
その他	9,795	2,199
固定負債合計	1,888,330	3,145,492
負債合計	7,356,400	6,105,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,871,861	2,871,861
利益剰余金	918,253	1,540,425
自己株式	△2,938	△3,409
株主資本合計	3,887,176	4,508,877
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,640	19,319
評価・換算差額等合計	11,640	19,319
新株予約権	1,234	1,234
純資産合計	3,900,051	4,529,430
負債純資産合計	11,256,451	10,634,546

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	9,461,209	10,115,045
売上原価	4,255,009	4,452,403
売上総利益	5,206,200	5,662,641
販売費及び一般管理費		
販売促進費	153,369	173,573
役員報酬	103,285	99,995
給料及び手当	1,764,683	1,788,231
賞与引当金繰入額	17,021	17,941
退職給付費用	49,895	57,903
福利厚生費	265,927	276,442
水道光熱費	211,228	180,275
消耗品費	155,072	168,008
修繕費	114,239	142,881
衛生費	175,703	178,122
租税公課	71,597	64,979
賃借料	612,303	618,459
減価償却費	218,085	210,921
その他	725,293	851,513
販売費及び一般管理費合計	4,637,707	4,829,249
営業利益	568,492	833,391
営業外収益		
受取利息	3,773	3,787
受取配当金	1,931	1,998
受取保険金	183	5,919
助成金収入	※ 106,032	—
その他	11,916	17,010
営業外収益合計	123,836	28,716
営業外費用		
支払利息	31,333	30,387
その他	10,668	17,007
営業外費用合計	42,001	47,395
経常利益	650,327	814,712
特別利益		
投資有価証券売却益	2,762	—
特別利益合計	2,762	—
特別損失		
固定資産除却損	5,512	2,004
特別損失合計	5,512	2,004
税引前四半期純利益	647,577	812,708
法人税、住民税及び事業税	12,634	12,883
法人税等調整額	35,151	93,575
法人税等合計	47,785	106,458
四半期純利益	599,791	706,250

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

※1. 当座貸越契約

当社は、安定的かつ効率的な資金調達を行うため取引金融機関10行（前事業年度は9行）と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
当座貸越極度額の総額	2,400,000千円	2,500,000千円
借入実行残高	2,175,000千円	1,000,000千円
差引未実行残高	225,000千円	1,500,000千円

※2. コミットメントライン契約

当社は、資金の効率的な調達を行うため、取引金融機関4行とコミットメントライン契約を締結しておりましたが、うち3行は2023年4月28日、残り1行は同年6月22日をもって契約満了により当該契約を終了しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
コミットメント極度額	3,900,000千円	－千円
借入実行額	1,320,000千円	－千円
差引未実行残高	2,580,000千円	－千円

(四半期損益計算書関係)

※助成金収入

前第3四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金106,032千円の特例措置の適用を受けており、助成金収入として計上しております。

当第3四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販 事業部	文化 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,492,798	1,224,898	743,511	9,461,209	—	9,461,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,492,798	1,224,898	743,511	9,461,209	—	9,461,209
セグメント利益	952,970	163,691	113,200	1,229,862	△661,370	568,492

(注)1. セグメント利益の調整額△661,370千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	レストラン 事業部	物販 事業部	文化 事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,087,833	1,189,447	837,763	10,115,045	—	10,115,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,087,833	1,189,447	837,763	10,115,045	—	10,115,045
セグメント利益	1,298,819	73,602	167,257	1,539,679	△706,287	833,391

(注)1. セグメント利益の調整額△706,287千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。